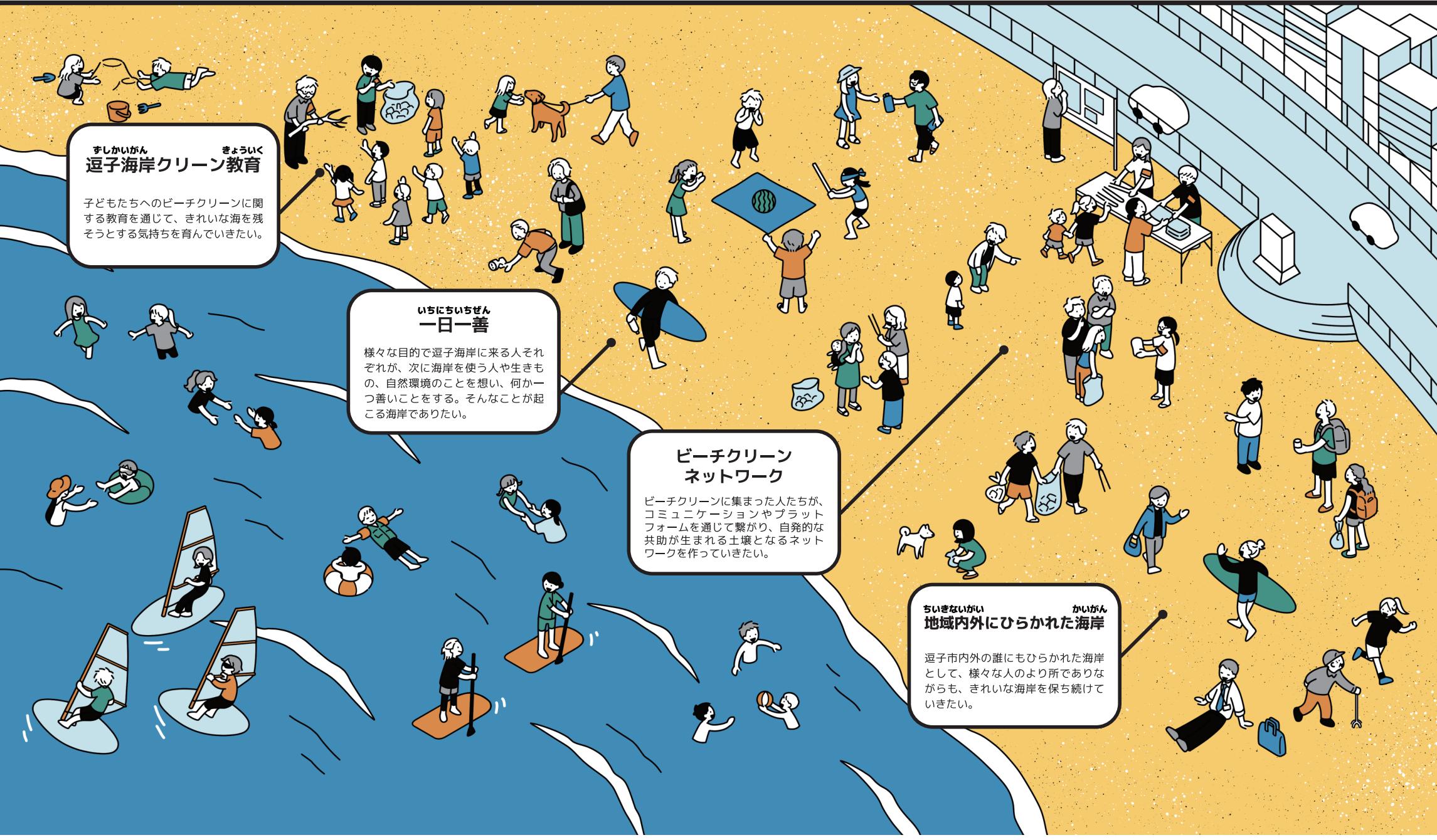


すし とうだい みらい
逗子 × 東大 未来ビーチクリーンラボ ~つぎにつなげるみんなの海岸~
かいがん

すし とうきょうだいがく しみん さんかがた おこな さんかしゃ う
逗子市と東京大学が共同で市民参加型ワークショップを行い、参加者から生まれたアイデアをイラストにしました。



逗子海岸ビーチクリーンガイドライン β版

海岸ごみは砂や塩分などの汚れがあり、リサイクルができません。
そのため家庭ごみと分別方法が異なることに注意しましょう。

○ 拾うもの

燃えないごみ（不燃ごみ袋に入れるもの）

- 缶
- ビン
- 金属
- 電球
- セトモノ
- 乾電池
- スプレー缶



※燃えないごみに記載されていないものは
全てその他のごみになります。

× 拾わないもの

触ると危険なもの

- カツオノエボシ
- いきものの死骸



- 自然のもの
(石、海藻、貝がらなど)
- 生きもの
- 人の荷物

その他のごみ（可燃ごみ袋に入れるもの）

- ペットボトル
- プラスチック
- タバコのフィルター
- 紙
- 革
- 布
- 発泡スチロール



- ごみが絡まった
自然のもの

- 注射器

- 大物漂流物置き場へ
- 建築資材や流木等の大きな木材

ビーチクリーンごみ集積場所



みんなで
ビーチクリーンに
参加しよう！



日本
形回
CHANGE
FOR THE
BLUE
海の未来を変える挑戦

ごみのゆくえ

1. 分ける



海岸のごみは街で出る一般のごみとは違う分け方をします。
間違えのないように一つ一つ分別します。

2. 運ぶ



ごみの分別が確認できたら、
地域のごみ処理業者が処理場まで運んでくれます。

3. 処理する



海ごみは塩分や砂が混ざっており、
多くをリサイクルすることは難しい
ため焼却します。
処理場で処理しきれない大きいごみ
等は海岸の西側にためて定期的に処理します。